

2026 年 1 月 19 日

各位

日本航空宇宙学会 関西支部 研究分科会
「航空宇宙産業の革新」
代表 吉河 章二

2025 年度の第 1 回研究分科会を以下のように開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。史上初の民間企業による月ミッション実施を掲げ、開発と実証を進めている株式会社 ispace の現在地点とこれからについて、ざっくばらんにお話をさせていただけると存じます。ご多忙のことと存じますが、ご興味のある多数の皆様のご参加をお待ちいたします。

記

2025 年度 第 1 回研究分科会（航空宇宙産業の革新）

日時：2026 年 2 月 9 日（月）11:00～12:30 （質疑込み）

会場：オンライン（Teams）

ミーティングリンクは、後日、参加申込者にお知らせいたします。

参加登録：下記の Google フォームから参加登録をお願い致します（申込〆切 2 月 6 日）。

参加費は無料です。 <https://forms.gle/8D4ygCyGcpv3D1TM7>

講演題目：ispace の Mission1,2 を振り返り、将来の月面探査ミッションについて考える

講演者：ispace, inc.

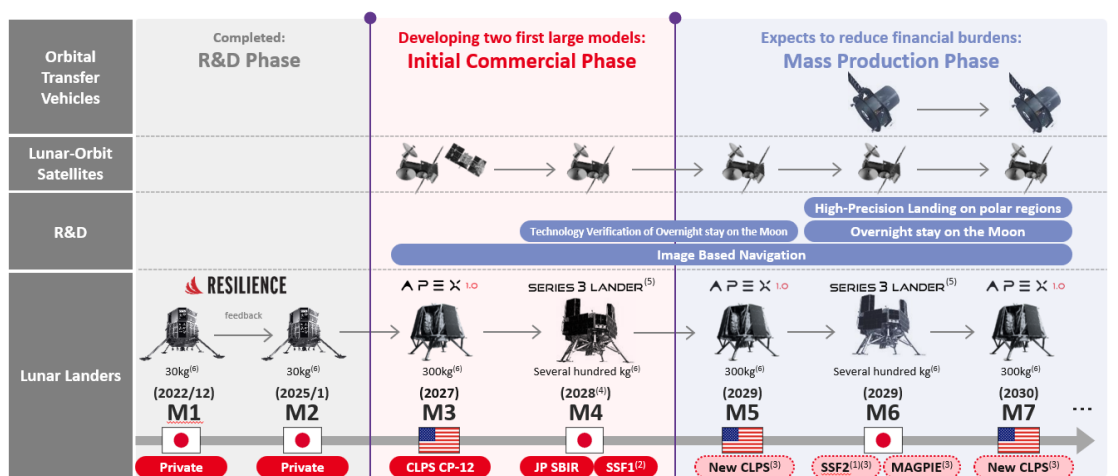
Corporate Strategy Group, Manager

中上 禎章（なかうえ よしあき） 様

講演概要：

当社は、地球-月に囲まれた Cislunar 空間に経済圏を創ることをビジョンに掲げ、月輸送やインフラ構築に係る技術開発・事業を行っています。実際に月への輸送・着陸ミッションをこれまでに 2 回実施し、多くの成果と知見を得ましたが、残念ながら着陸結果自体は我々が期待するものではなく、反省も忸怩たる思いもありますが、しっかりと原因分析を行い、透明性高く丁寧に説明・発信し、そして次期ミッションにしっかりとつなげていくことが、これからも私たちの大きな責任と考えております。本講演の場をお借りして、改めて、当社のビジョンやこれまでの Mission1/2 を振り返り、そして将来ミッションの現状や展望を共有させていただきます。忌憚ないご意見を頂ければ幸いです。

以上



* The missions and schedules, as shown above, are as of November 14, 2023 and may be subject to change.

(1) Indicates JAXA's ISF Phase 2nd

(2) Indicates JAXA's ISF Phase 1st

(3) We have not officially decided to apply these clients, and there is no guarantee of us winning the contracts for those we have applied.

(4) Initially, we have agreed with AIST and SBIR office for launching within 2027, however, based on our company's current development plan as of November 14, the launch is

expected to be within calendar year of 2028. This change is still under discussion with related ministries and SBIR office, official change of schedule will be determined after

approval of Ministry of Economy, Trade and Industry

(5) Estimation as of October 6, 2023. The same is subject to change in the future. The lander design described in this materials is subject to change

(6) Maximum Payload Capacity

図：当社のミッション計画